

北保育園建設だより

No.8

大口町立北保育園 (H27.10.23)

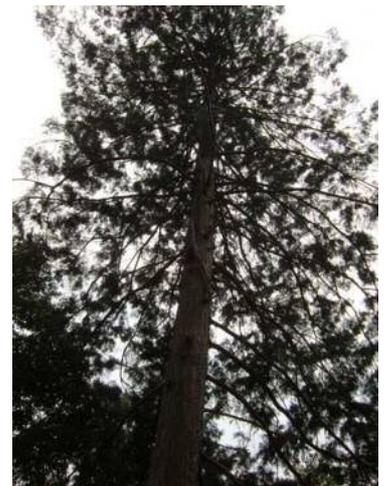
新園舎

新園舎の基礎となるコンクリート枠ができ、母子通園と遊戯室のつなぎ廊下、保育園の園児トイレなども形になってきました。15日(木)には、保育室の柱の「建て方」が行われ、大きなクレーン車が入り木材を持ち上げていました。青い空にそびえるように高く伸びたクレーン車に、子ども達は「わぁ、すごーい!」と歓声を上げていました。17日(土)には、木造の二段重ねの屋根が現園舎のすき間から顔を出し、「わぁ、出来てきた!」と子どもみたいに嬉しくなりました。



シンボルツリーの斧入れ式

10/10(土) 岐阜県関市の「21世紀創造の森」にて、鈴木大口町長をはじめ、タイム技研(株)、岐阜県森林組合、北保育園建設推進室、木こりプロジェクト、保育士出席のもと、北保育園園舎のシンボルツリーに使用されるヒノキに斧を入れる「斧入れ式」が行われました。樹齢100年を超え、幹の太さは両手でかかえきれないほどの大きなヒノキがシンボルツリーとなります。楽しみです。



町長の斧入れ

シンボルツリーに
使用されるヒノキ



タイム技研(株)・岐阜県森林組合の
みなさまと町長・福祉部長

マイ箸づくり（職員）

今年度、木育の一環で町立保育園では岐阜県立森林文化アカデミー教授、松井勅尚先生のご指導の下、木のマイ箸づくりを計画しています。まず始めに箸づくりの指導に当たる保育士が、7月に松井先生と一緒に箸を作りました。そして、9月には担当保育士の指導の下、各園の職員が箸づくりをしました。「木のにおい、ぬくもりを感じることができた」「自分で作った箸に愛着が持てた」など実施してみて様々なことを感じた保育士でした。



松井先生による箸づくり研修



道具も大切！使い方の勉強もしました



担当保育士による箸づくり指導



自分の手にあった箸を作ります



親指と人差し指を結んだ長さを測ります



長い場合は、のこぎりできります



姿勢正しく、紙やすりで形成します



できあがった職員の箸



職員はマイ箸で給食を食べています

運動会の入退場門

「21世紀創造の森」で伐採したヒノキの木片に絵を描き、3園合同運動会の入退場門を作りました。南保育園は春、西保育園は夏、北保育園は秋の木をイメージし、素敵な作品になりました。運動会も元気いっぱい頑張りました。

